

【Basic I】

筆記試験 <理論> 例題集 ②

(60分)

I. 次の楽譜を見て、各問に答えなさい。

1. ①～⑤のコード・ネームを書きなさい。

① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____

2. A～Cの2音間の音程を答えなさい。

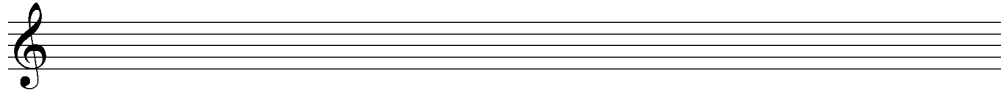
A _____ B _____ C _____

●コード判別と音程に関する問題です。Basic I では基本的な種類のコードについて、構成音からコード・ネームを判別できることが必要です。

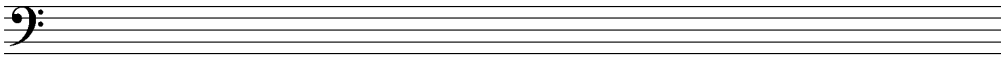
(正解) 1. ① Dm7 ② Cmaj7 ③ Fmaj7 ④ Em7 ⑤ G7 2. A. 減5度 B. 短7度 C. 長6度

II. 下記に指定されたスケールを、調号をつけずに（臨時記号を使用して）書きなさい。

(1) E^b major（長音階）

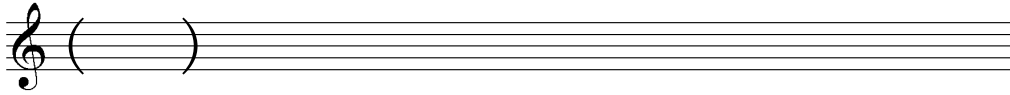


(2) D harmonic minor（和声短音階）

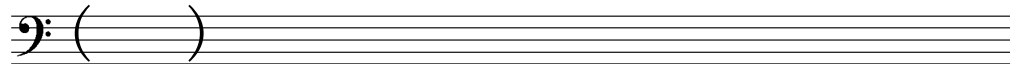


III. 下記に指定されたスケールを、調号をつけて書きなさい。

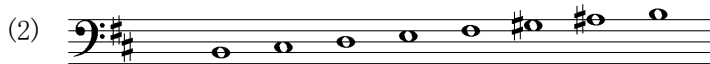
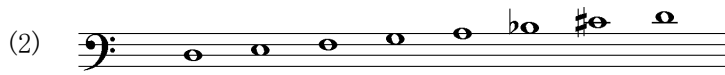
(1) F[#] natural minor（自然短音階）



(2) B melodic minor（旋律短音階）<上行形のみ>

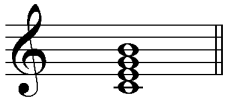


●音階を記譜する問題です。3つの短音階の種類を把握しておくことと、音部記号にも注意しましょう。



IV. 例にならって、次のコード・ネームの和音の基本形を書きなさい。

(例) Cmaj7



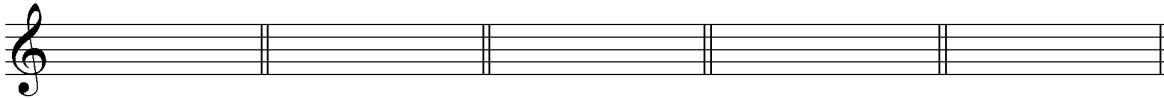
A^b

D7

A^m7(^b5)

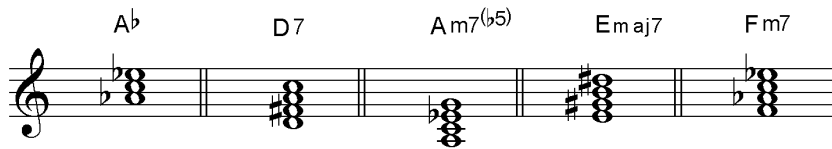
E^maj7

F^m7



●コードの構成音を問う問題です。各種類のトライアドおよびフォー・ノーツ・コードについて、コード・ネームからの音符を組み立て方を理解しておきましょう。

(正解)



V. コード進行を分析した次の表の空欄に、適切な度数または機能を記入しなさい。

(コードの機能:T=Tonic, S=Subdominant, D=Dominant)

(1) Key : D major

コード	Dmaj7	Bm7	Gmaj7	A7	F#m7	
度数	I maj7	VI m7	()	V7	()	~
機能	T	()	S	()	T	

(2) Key : F major

コード	Gm7	C7	Fmaj7	B ^b maj7	Am7	
度数	II m7	()	()	IVmaj7	III m7	~
機能	()	D	T	()	()	

(3) Key : B^b major

コード	B ^b maj7	E ^b maj7	Am7(^b 5)	Dm7	Gm7	
度数	I maj7	()	VII m7(^b 5)	()	()	~
機能	T	S	()	()	T	

●ダイアトニック・コードの機能、度数に関する問題です。各メジャー・キーにおいて、7つのダイアトニック・コードのコードネームと機能を正しく導き出せるようにしておきましょう。

(正解) (1) Key : D major

コード	Dmaj7	Bm7	Gmaj7	A7	F#m7	
度数	I maj7	VI m7	(IVmaj7)	V7	(III m7)	~
機能	T	(T)	S	(D)	T	

(2) Key : F major

コード	Gm7	C7	Fmaj7	B ^b maj7	Am7	
度数	II m7	(V7)	(I maj7)	IVmaj7	III m7	~
機能	(S)	D	T	(S)	(T)	

(3) Key : B^b major

コード	B ^b maj7	E ^b maj7	Am7(^b 5)	Dm7	Gm7	
度数	I maj7	(IVmaj7)	VII m7(^b 5)	(III m7)	(VI m7)	~
機能	T	S	(D)	(T)	T	

VI. 下記のケーデンス（終止形）の種類として適切なものを、 内から選んで番号で答えなさい。

(1) Key : E^b major

| E^bmaj7 | B^b7 | E^bmaj7 || ()

(2) Key : D major

| Dmaj7 | Gm7 | Dmaj7 || ()

(3) Key : F major

| Fmaj7 | B^bmaj7 | C7 | F6 || ()

- | | | |
|------------------------|------------------|-----------------------|
| 1. ドミナント・ケーデンス | 2. サブドミナント・ケーデンス | 3. サブドミナント・マイナー・ケーデンス |
| 4. サブドミナント-ドミナント・ケーデンス | 5. トゥー・ファイブ | 6. 1～5以外のケーデンス |

●コード進行（ケーデンス／終止形）についての問題です。『セオリー・オブ・ポピュラー&ジャズ 1』第3章 VI(43～46ページ)に記載されている代表的なケーデンスの種類とその意味を理解した上で、各キーにおけるコード進行を分析することが求められます。

(正解) (1) 1 (2) 3 (3) 4

VII. 次の文章の () にあてはまる語句、数字、または記号を語群から選んで番号で答えなさい。

- (1) コードの基本形とは、コードの()を最低音として構成音を積み上げたものである。
- (2) 導音を含まないナチュラル・マイナー・スケールの第7音を半音上げて導音に変化させたスケールが、()である。
- (3) 完全4度の音程を半音広くした音程は()、長3度の音程を半音狭くした音程は()である。
- (4) A^bと()、F[#]と()とは、エンハーモニック(異名同音)の関係にある。
- (5) ダイアトニック・コードのうち、II m7は、主要和音である()と同じ機能を持つ代理コードである。

- (語群) ① コード・トーン ② ルート ③ ベース ④ ダイアトニック・スケール
 ⑤ メロディック・マイナー・スケール ⑥ ハーモニック・マイナー・スケール ⑦ 短3度 ⑧ 減3度
 ⑨ 長4度 ⑩ 増4度 ⑪ I maj7 ⑫ IVmaj7 ⑬ V7 ⑭ B[#] ⑮ G[#] ⑯ G^b ⑰ E

●楽典や、音楽理論に関する用語の問題です。Basic I では、『セオリー・オブ・ポピュラー&ジャズ 1』と『ピアノ・パフォーマンス 1』の範囲から出題されますので、これらに出てくる用語をよく理解しておきましょう。

(正解) (1) ② (2) ⑥ (3) ⑩、⑦ (4) ⑮、⑯ (5) ⑫